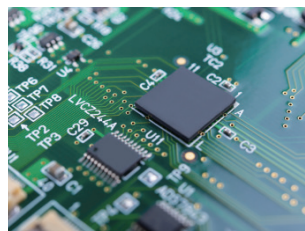


ADVANTEC

未来の科学のためにできることを



Origin

原点

医療、食品、半導体からエネルギーまで、
さまざまな研究と製造の現場を支える
ADVANTEC のものづくりは、
日本初の濾紙メーカーとして始まりました。
「もっと良いものをつくり、とどけたい。」
その想いで歩み続けて 100年。
今日もお客様のニーズに
濾過技術と理化学機器で応えていきます。



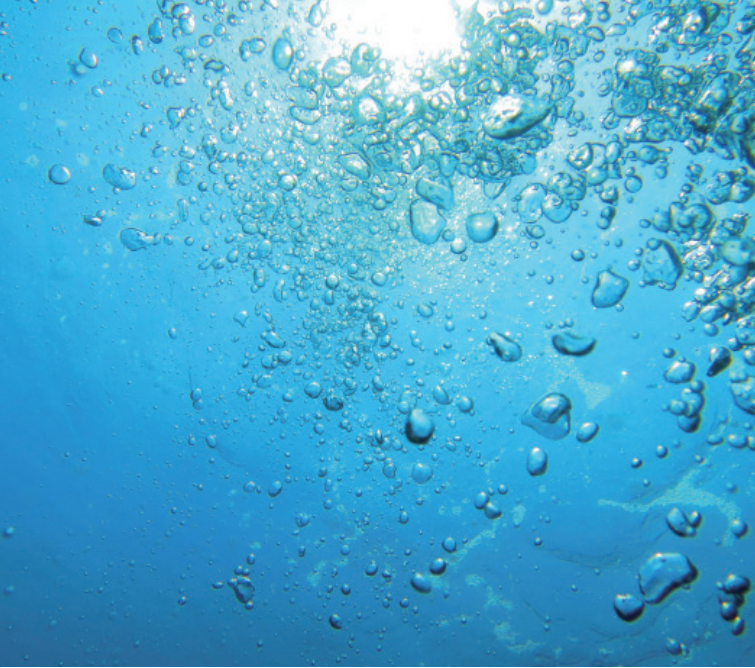
Evolution

進化



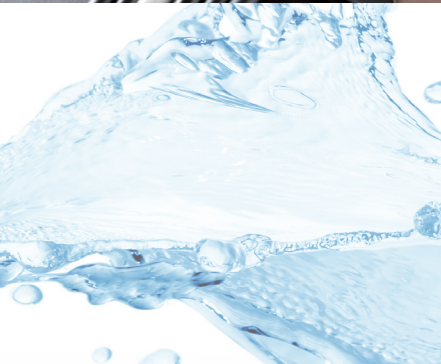
Future

未来



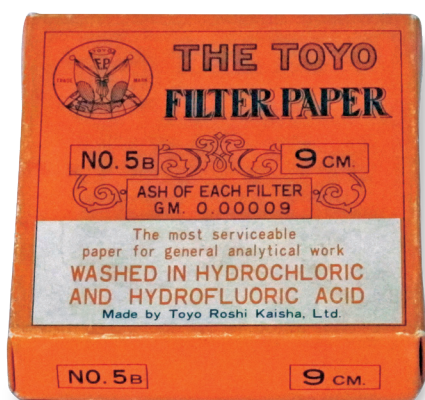
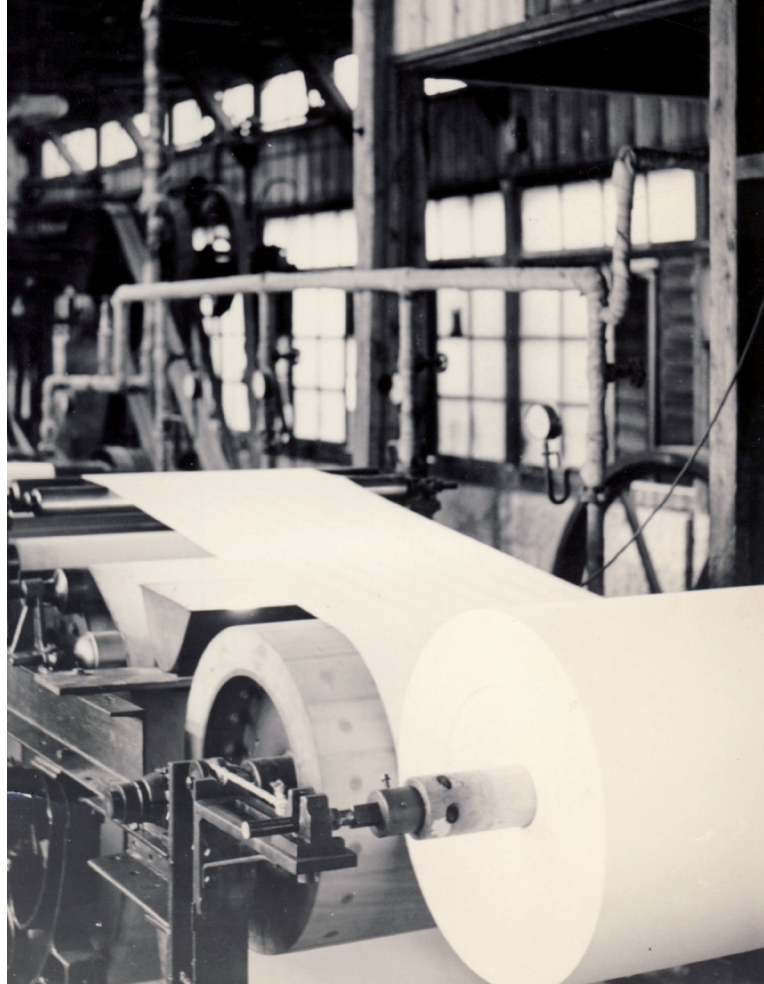
Challenge

挑戰



Origin

原点



日本初の国産濾紙をつくる。
全ての挑戦は、
ここから始まりました。

戦中・戦後の日本の科学研究を支える

「海外製品と同じレベルの品質で、安定供給できる国産濾紙をつくらう」日本初の化学分析用濾紙メーカーとしてADVANTECグループが創業したのは、1917年（大正6年）になります。日本では長らく化学分析に使う濾紙をドイツからの輸入に頼っていましたが、第一次世界大戦のあおりを受けて供給が途絶しました。そこで、国の研究施設である農商務省工業試験所（現・産業技術総合研究所）が濾紙と和紙を比較・研究して白木綿屑を原料とした製造方法を見出し、ADVANTECグループがこの方法を実用化。現在の不純物が極めて少ないコットンリスターパルプを原料とした化学分析用濾紙を製品化し、その後、総合濾紙メーカーとして歩みはじめます。

最新の濾過システムが 飲料、半導体など あらゆる業界の発展に貢献

「新鮮なビール」という新たな市場

1960年代に日本でビールの生産が増え、加熱しない無菌化が模索されました。紙では濾過が難しい微生物や菌を捕捉できる精密濾過膜のメンブレンフィルターの開発により、製造されるようになったのが「生」ビールです。1973年(昭和48年)には国内初の一体成型カートリッジフィルターを製造。濾材をプリーツ状に折ることでコンパクトでも濾過面積が広く、濾過寿命も長くなりました。その後も耐熱性、耐溶剤性を高めたほか、情報処理能力を高める微細化が進む半導体にあわせたフィルター開発に挑戦。今ではレジスト濾過用のオールポリエチレンカートリッジフィルターで1nmの小孔径化を達成したことをはじめ、半導体・液晶分野でも技術の進化に応じています。



進化 Evolution

Challenge

挑戦

人に優しく、環境に優しく。
今、理化学製品の
存在価値に挑む。

研究器材にデザインの概念を

戦後のモノがない時代だった1947年(昭和22年)、研究者の方々から「濾紙だけでなく器材の供給も」と求められて理化学機器の取り扱いが始まり、やがて個々のニーズに応えるために自社開発に着手しました。「理化学機器は目的を満たせば良い」という、見た目や使いやすさよりも作りやすさが優先される風潮の中、開発で大切にしてきたのはユーザー視点。理化学機器のイメージを刷新する製品は2度のグッドデザイン賞受賞につながりました。環境保全への関心の高まりにあわせ、蒸留水製造装置の使用済みイオン交換樹脂を回収するなど、人に便利なだけでなく、環境に配慮した取り組みも続けています。





濾紙にできることは、もっとある。 研究開発を重ね未来の化学へ。

いのちを守る技術

診療時間、わずか数分。そんな未来の医療現場にも弊社の製品は広まっています。大学などの研究機関との共同開発により生まれた体外検査用の試験紙やイムノクロマトメンブレン。インフルエンザや妊娠検査など、病院や自宅でのスピーディな検査に採用されています。極小の網目で細菌やウイルス、たんぱく質を捉える仕組みを応用して、アレルギーの検査にも使用できないかと食品メーカーも注目。国内生産という流通における強みも活かして、海外メーカーが主流の市場へ新たな価値を提供していきます。時代に即するだけでなく、時代を先取りし、先進性と独創性のある製品を世の中へ。これからもADVANTECグループはニーズに対応した研究体制を整え、優れた製品の開発を続けていきます。



未来
Future

トップメッセージ

ONE ADVANTEC

濾過技術と理化学機器の課題を 解決するベストパートナー

ADVANTECグループは、1917年に日本初の濾紙メーカーとして創業して以来、濾紙と理化学機器のメーカーとして、また、国内および海外に幅広い販売網を持つディーラーとして、確実な歩みを続けてきました。

100年以上の歴史のなかで、さまざまな試練に直面しましたが、市場ニーズに合わせた事業拡大と再編に取り組むことにより、濾紙・理化学機器の開発から、製造、販売、設備工事およびアフターサービスにわたるすべてをグループ内で行う一貫体制を構築しました。また、「もっと良いものをつくり、とどけたい。」という想いで、自社製品の開発、製造方法の改善を行い、品質に磨きをかけるだけでなく、優良メーカーの理化学機器の販売も行うことで、先端技術産業をはじめとした、さまざまな分野の企業や研究・検査機関などに欠かせない製品やサービスをワンストップで提供しています。

時代の変化が著しいなか、より速くお客様のニーズを捉え、それをものづくりに活かし、独創的な製品やサービスの開発に取り組んでいく必要があります。現在、ADVANTECグループは「One ADVANTEC」のもと、生産部門・販売部門の社員が同じ目標に向かって一つとなり、チャレンジしていくという体制づくりに取り組んでいます。

「One ADVANTEC」のチームでお客様の課題解決に取り組み、お客様のよりよい未来の創造に貢献できるベストパートナーを目指していきます。



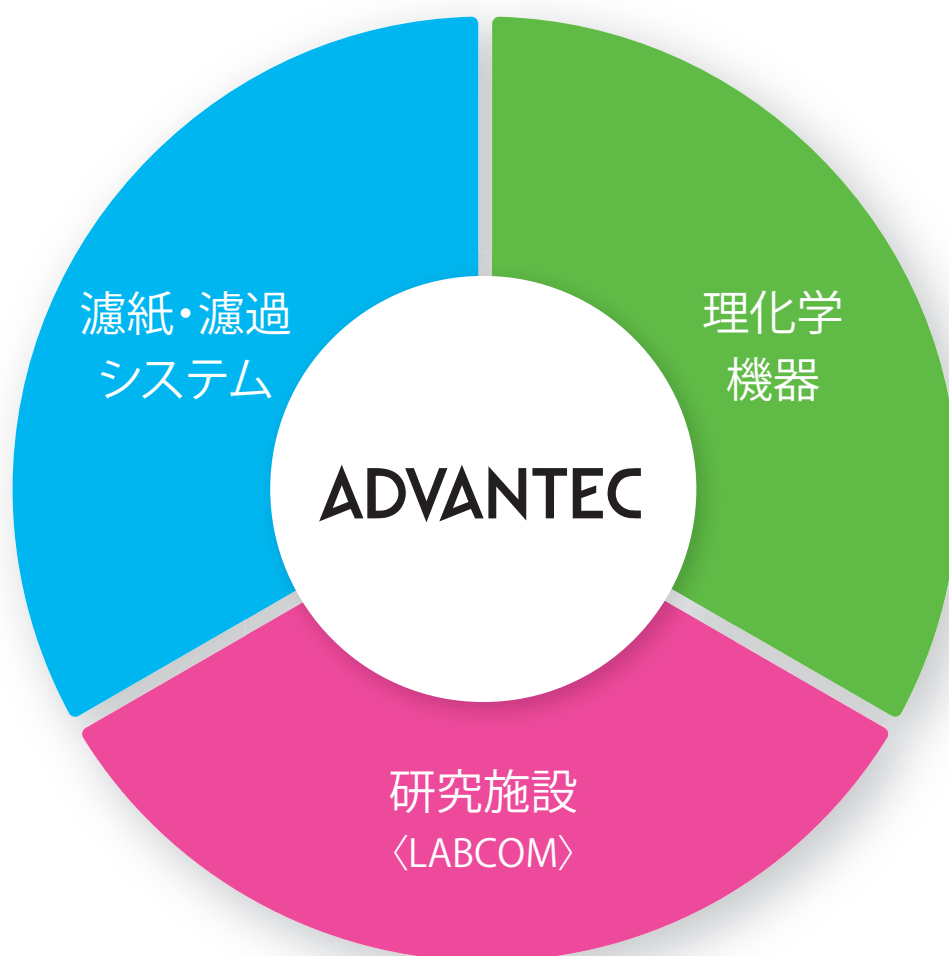
代表取締役社長 戸部 浩介

企業行動理念

さらなる技術革新と充実した販売機能を駆使し、限りなく綺麗な水、空気、自然環境作りに貢献することで、人、地球、科学技術のより良い共存を目指して行きます。

事業紹介

濾紙・濾過システム、理化学機器、研究施設〈LABCOM〉を3本柱に、グループ企業のメーカー、ディーラーが連携し、お客様の研究・開発・生産・検査などに欠かせない製品やサービスをワンストップで提供します。



Filtration

多くの研究・製造現場には、精密フィルターが不可欠です。信頼と実績のフィルトレーション技術が超精密化する業界ニーズに応えています。

Science

汎用理化学機器から分析機器、環境試験器など幅広いラインナップにより、先端技術産業や各種検査・研究機関をバックアップしています。

Laboratory

研究設備の新設や移設、改修、設備・機器の調達まで一括で対応し、研究員に寄り添い、研究設備や機器に関するさまざまな課題解決に応えています。

Filtration

100年の経験と実績に育まれたテクノロジーを提供 濾紙・濾過システム

研究・製造現場に欠かせない フィルトレーションシステム

先端技術産業をはじめとして、さまざまな分野の企業や研究機関などのあらゆる濾過分野でお客様のニーズに応じてきました。

さらに、時代の先を見据える力と先端的で豊かな技術力により、数多くのフィルターメディアを開発し、今もなお日本随一の総合濾紙メーカーとして業界をリードしています。



カートリッジフィルター／コンパクト／カプセルカートリッジフィルター／イムノクロマトメンブレン／分析用濾紙／試験紙／ディスプレイザブルメンブレンフィルターユニット／メンブレンフィルター

時代の要請に応えるラインナップ

100年以上にわたりさまざまなニーズに応え、濾紙製品から試験紙、メンブレンフィルター、カートリッジフィルター、ホルダー・ハウジングまで充実したラインナップを取り揃えています。



幅広い分野で活躍する濾過システム

ライフサイエンス、電子工業、食品、製薬、化学工業などの研究や生産活動の多くには、精密フィルターが不可欠であり、これらの分野のお客様に品質や技術で高い評価をいただいています。



高いシェアを誇る分析用濾紙

弊社の分析用濾紙は、ほとんどが純粋なセルロース繊維を使用しているため、分析結果への影響が少ない特徴があります。さらに安定した高品質製品の供給により、高いシェアを誇っています。



安全と健康を支える試験紙

世界に先駆けてpH試験紙を開発し、試験紙でもさまざまな分野を支えています。研究室や製造現場、食品分野、化学工業分野、学校教育現場などでも使用されています。



主な製品

- カートリッジフィルター ● カートリッジフィルターハウジング
- コンパクト／カプセルカートリッジフィルター
- 生産用濾紙／濾過板 ● メンブレンフィルター
- メンブレンホルダー／タンク ● ウルトラフィルター／ホルダー
- ディスポーザブルメンブレンフィルターユニット ● 試験紙 ● 分析用濾紙

フィルター選定、カスタム

お客様のご要望、課題に向き合い、ソリューションを提案します。開発やパイロット生産の段階でもラインナップから提案可能です。カスタマイズの要望にも対応しますのでご相談ください。



Science

多様化、高度化するあらゆる産業を支える 理化学機器

幅広いラインナップと高い技術力で
先端技術産業や研究・検査機関をサポート

ラボから生産ラインまで幅広いラインナップを取り揃え、標準品だけでなく、生産ラインで使用できるオーダーメイドの特注製品を提供できる技術力を有しています。
その根本にあるのは、開発／製造／品質維持に携わる社員の三位一体の体制。
日々お客様ファーストを追求して要望の実現に努め、活動を支援しています。



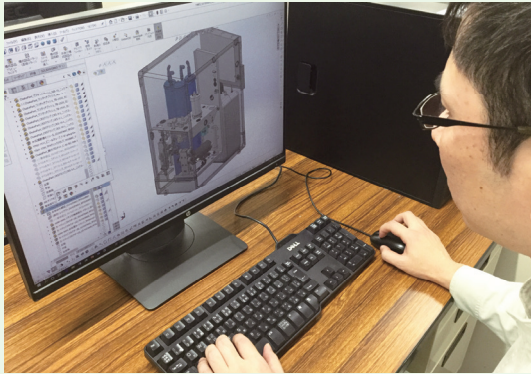
画像提供：(株) 堀場製作所

画像提供：京都電子工業(株)

定温乾燥器／蒸留水製造装置／フラクションコレクター／pHメーター／カールフィッシャー水分計

独創的な開発体制

市場調査や商品企画から量産化まで一貫して行うことで、時代の先を見据えた製品開発に取り組んでいるほか、専門分野にとられない幅広い知識と技術の習得に努め、開発力を強化しています。



理化学機器で支える研究室の基盤

研究の必須アイテムから、研究者の痒いところに手が届く製品まで幅広くラインナップしています。定番製品は短納期でお届けすることで、研究室の活動を支えています。



高品質でニーズに応える

開発からサービスまでISO9001を基本とした総合的なマネジメントシステムを確立し、品質の継続的な改善に取り組み、お客様に満足いただける高品質の商品、サービスの提供に努めています。



優良メーカーの取り扱い拡大

国内外の優良メーカーとのネットワークを広げ、総合理化学機器ディーラーとしての機能も強化し、お客様のあらゆるニーズにお応えできるよう、理化学機器を幅広く取り扱っています。



主な製品

- 蒸留水／超純水／純水製造装置
- フラクションコレクター
- 乾燥器
- 電気炉
- 加熱器
- 環境試験器
- 保存機器
- 恒温液槽
- 振盪恒温水槽
- スターラー
- 加圧・減圧装置
- 送液ポンプ
- バイオテクノロジー関連機器
- 食品・微生物試験関連機器
- 環境試験関連機器
- 実験研究設備
- 優良メーカーの理化学機器

特殊仕様品対応・修理対応

使われている装置の困りごとはありませんか？
理化学機器の「こうだったらいいのにな」を是非お聞かせください。自社工場での一貫体制を活かし、お客様のご要望にきめ細かにお応えします。



Laboratory

ラボに関するあらゆる課題をまとめて解決

研究施設 LABCOM Open Innovation

研究員のみなさまに寄り添い
快適なラボ環境をトータルプロデュース

ラボのコンサルティング、改修、移設、問題解決の4つのソリューションを提供。
研究員のみなさまに寄り添い、より良い研究環境をつくるサポートをします。
同一メーカーにとらわれない商品構成や、ご予算に応じた独自の提案で、ラボに係わるすべてのコーディネートを行います。



施エイメージ



最先端設備のラボの新設

50年に1度といわれているラボの新設。総合理化学機器ディーラーの知見を活かして、デザイン、コスト、法令順守、生産性を考えた、最先端かつ最適なラボを設計します。



付加価値を高めるラボの改修

建設当初に戻す“リフォーム”ではなく、最先端のラボデザイン、省エネ技術の導入、既存ラボの改善など、付加価値の高い“リノベーション”を提案します。



スムーズなラボの移設

移設対象の機器点検、物流作業、装置の立下げ&立上げ作業、付帯設備の切断・再接続作業などを一括して請負う、オリジナル移設サービスで、ラボのダウンタイムを極力軽減します。



既存ラボの問題解決

既存のラボには、さまざまな問題が潜んでいます。お客様のラボを訪問して問題を把握し、その改善策を提案することにより適切なラボの環境づくりをサポートします。



主なサービス

- ラボのコンサルティング
- 建屋/施設紹介 ● 設計/施工
- 機器販売 ● 移設/移転作業
- 点検・バリデーション
- 濾過システム構築

サービス例

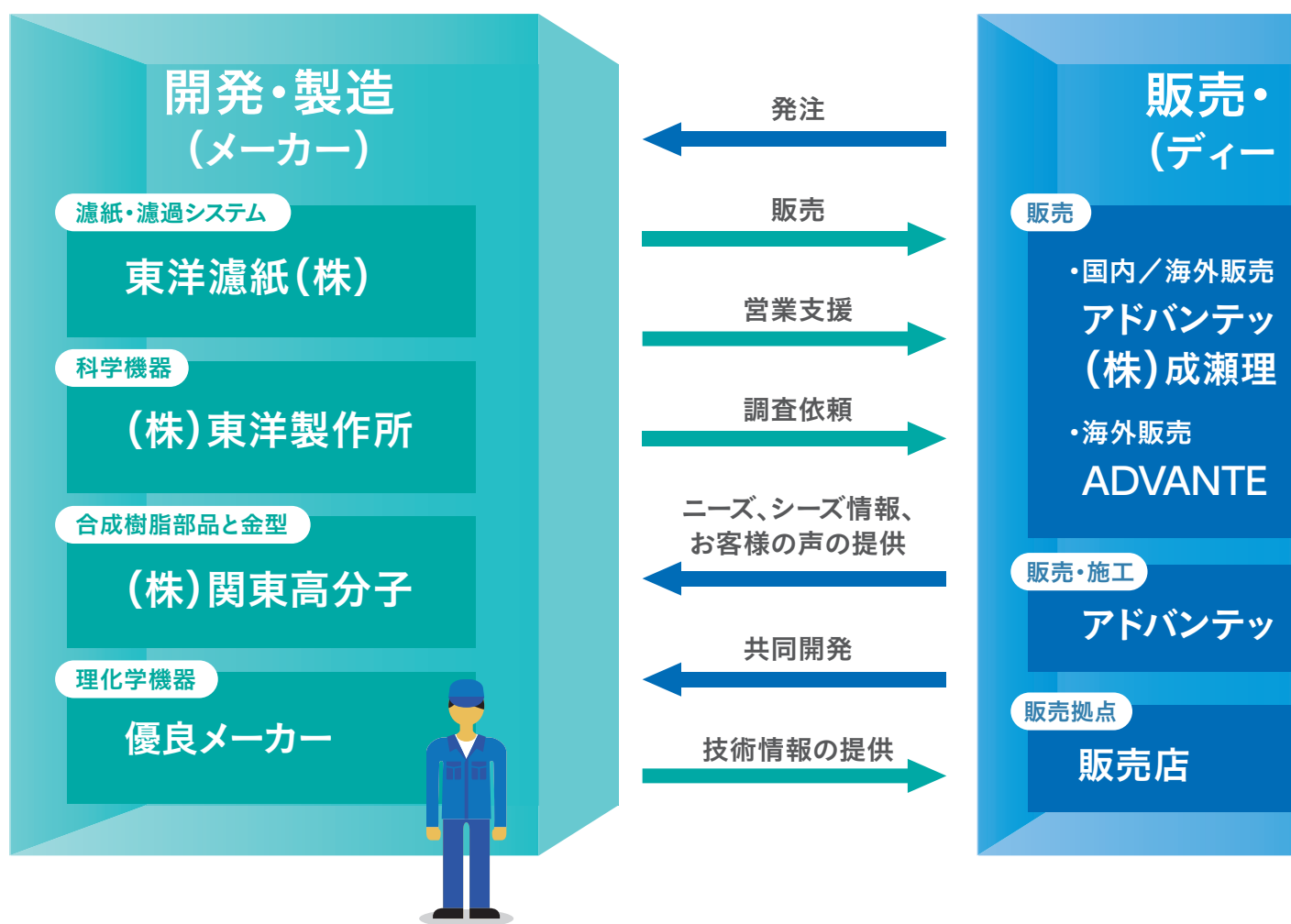
ラボの環境を調査・測定し、課題にあわせてサービスを提供します。

- スクラバー、ドラフトチェンバーの定期自主検査とメンテナンス
- 作業内容から機器レイアウトを提案
- 薬品管理サポート(薬品管理システムの販売)
- 局所排気設備により空調が効かない場合、改善策を提案



ADVANTEC

「メーカー」「ディーラー」の機能が結集した一貫体制



東洋濾紙株式会社

総合濾紙メーカーとして、フィルターメディアの開発やフィルトレーションシステムなどの製造を行い、あらゆる濾過分野のニーズにお応えしています。

株式会社東洋製作所

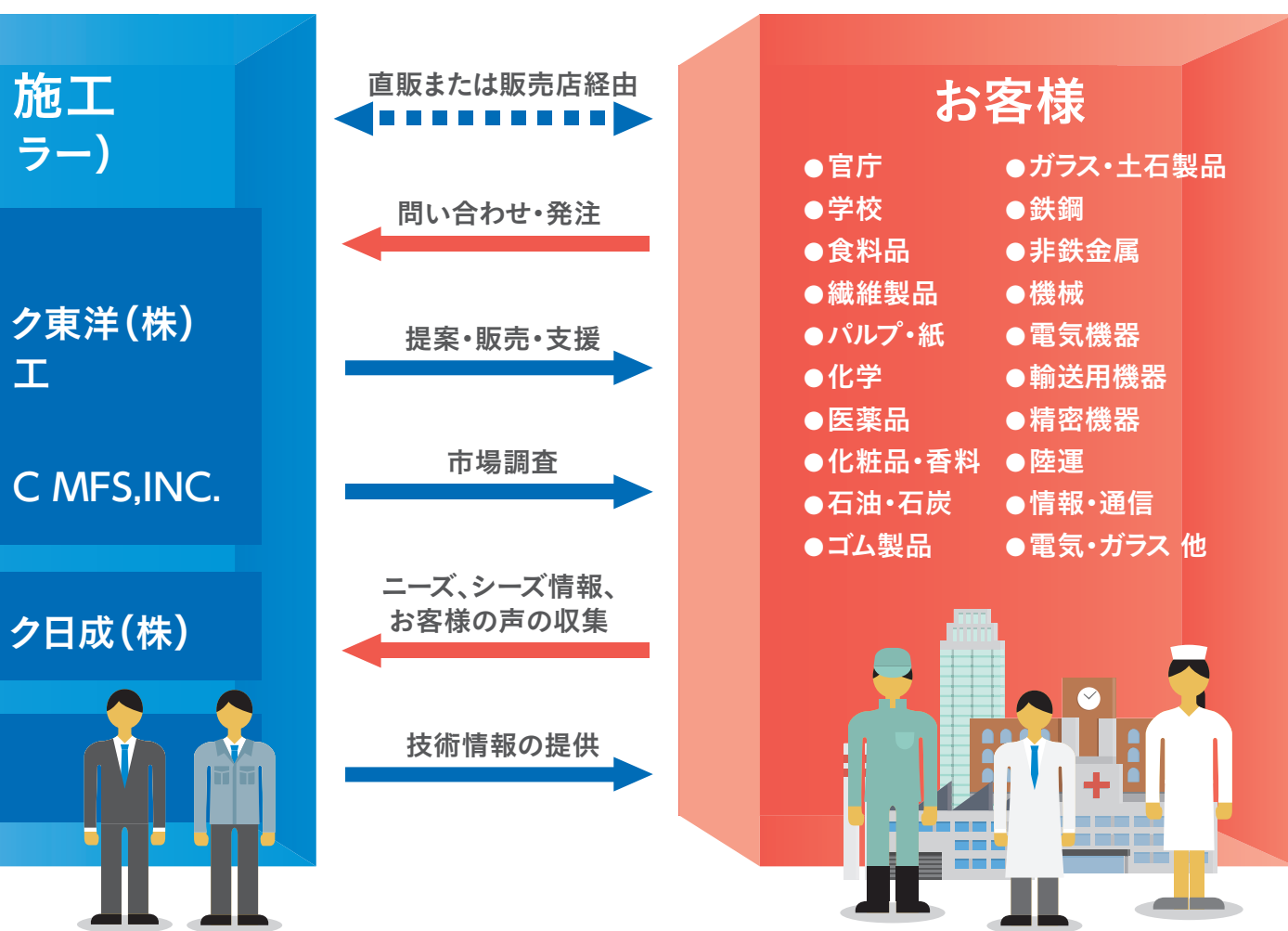
標準品から特殊仕様品まで幅広く対応する柔軟な生産体制のもと、研究開発分野の生産設備ニーズに応える科学機器を開発・製造しています。

株式会社関東高分子

ADVANTECグループ製品に使用する合成樹脂部品の成形加工、金型の設計・製作を行い、高性能、高品質な製品の開発・製造を支えています。

GROUP 商流

グループ7社からなるADVANTECグループは、
優良メーカーや国内外の販売店様と共に一つになり、
高度化、多様化するニーズに応じていきます。



アドバンテック東洋株式会社

総合販売部門として提案からアフターフォローまで、きめ細かなサービスを展開。国内外の優良メーカー製品の取扱いにも力を入れています。

株式会社成瀬理工

理化学機器の提案・販売を通してお客様の研究・開発・製造・測定を支えます。

ADVANTEC MFS, INC.

巨大市場の北米・欧州、成長著しい中南米の多様な市場へ適切なソリューションを提案し産業の発展に貢献しています。

アドバンテック日成株式会社

エンジニアリング部門として、水道、空調設備工事および理化学機器販売・据付けを行っています。

GROUP NETWORK

国内および海外に幅広い販売網を持ち
 多くのお客様に迅速に製品を届け
 きめ細やかなサービスを提供していきます

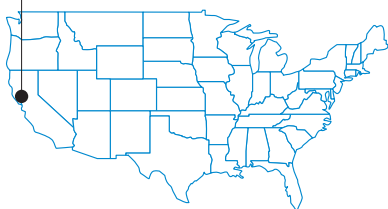
- 東洋濾紙 (株) 本社・工場
- アドバンテック東洋 (株) 本社・営業所・商品センター・フィルトレーションLab
- (株) 東洋製作所 本社・工場・サービスセンター
- (株) 関東高分子
- (株) 成瀬理工
- アドバンテック日成 (株)
- ADVANTEC MFS, INC.



● 東洋濾紙 (株) 新潟工場 ● 濾紙開発部



● ADVANTEC MFS, INC.



● 福岡営業所

● 京都営業所

● 神戸営業所

● 岡山営業所

● 高松営業所

● 広島営業所

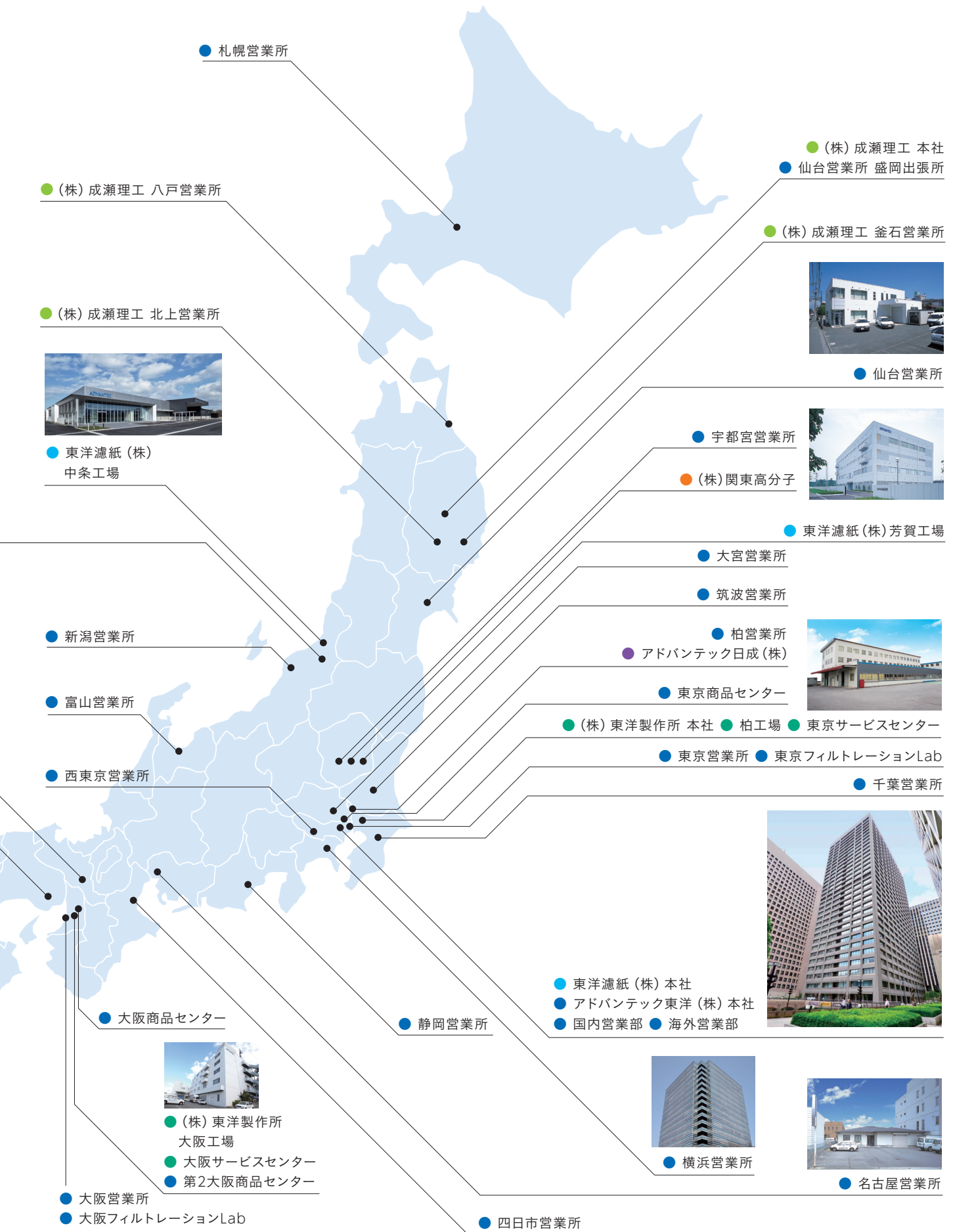
● 北九州営業所

● 大分営業所

● 徳山営業所

海外取扱店





HISTORY

1917

国内初の濾紙メーカーとして創業

創立間もない弊社の経営を軌道に乗せたのは、今では「分析用濾紙」として分類されている定性・定量濾紙でした。それは今でも公的な研究機関や大学などの教育機関、一般企業の実験室や研究室などで日常的に使われています。

1933

東洋濾紙(株)を設立

1947

東洋濾紙(株)が分析・理化学機器の販売開始

戦後、多数の学術研究者の間で、弊社に対して、必要資材の入手難を訴える声が高まり、硝子器具類、各種化学器械の製作・販売を開始しました。研究室などに入用していた弊社に、今日で言うワンストップサービスの役割が期待されました。

1951

東洋濾紙(株)が宇都宮、花畑、代々木、大河の4工場体制となる

1961

東洋濾紙(株)が販売、製造部門を独立させそれぞれ会社を設立

【販売部門】
東洋科学産業(株)
東京、大阪に同名2社設立
【科学機器製造部門】
(株)東洋製作所
東京、大阪に同名2社設立

1969

(株)東洋製作所柏工場を新設

1974

東洋濾紙(株)ロサンゼルス事務所を開設し、海外へ本格的な進出

1977

大阪の東洋科学産業(株)が大阪の(株)東洋製作所を吸収合併

1979

米国法人 TOYO ROSHI INTERNATIONAL, INC.を設立

1930



世界に先駆けて独自開発したpH試験紙(第5回分析機器・科学機器遺産認定事業で認定を受ける)

1937



濾過版

1917



国内初の定性濾紙、定量濾紙(第4回分析機器・科学機器遺産認定事業で認定を受ける)

1951



自動車用濾紙

1959

角型重量式フラクションコレクター

弊社オリジナル科学機器の草分け的存在となるフラクションコレクターは、戦後関心を集め始めたタンパクやアミノ酸の分析を中心に生化学分野では欠かせない実験装置でした。

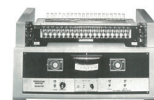


1963

国内初の全ガラス蒸留水製造装置

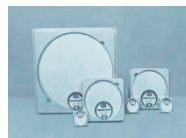


1966



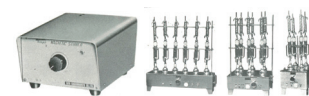
振盪温度勾配培養装置

1967



メンブレンフィルター

1969



マグネチックスターラー、ウォーターバス(GS-20N)

1971



小型乾燥器、恒温培養器、自動蒸留水製造装置

1972

日本初の一体成型カートリッジフィルター「トーセル」(TCタイプ)

トーセルはセルロースを濾材とし、これにエポキシ樹脂を含浸させてブリーツ形状を安定させ、両端部をポリプロピレンと溶着させたものでした。ブリーツ状に折り折ることで、コンパクトながら濾過面積が広くとれ、濾過寿命が長持ちするため交換回数が少なくて済む点が特徴で、新たな生産用濾過製品の誕生でした。これに併せて、カートリッジを組み込むハウジングも品揃えしました。





1981

東洋濾紙(株) 技術センター発足
(現 濾紙開発部)

1984

「ADVANTEC」を
統一ブランドとして掲げる

1986

東京・大阪の
東洋科学産業(株)を合併し、
アドバンテック東洋(株)設立

東西の合併により、単一企業として全国をくまなくカバーする、業界でも希少な販売力を有する販社となりました。地域限定での取扱いだった優良メーカーの理化学機器は数々あったものの、合併に伴うバイイングパワーの増大が、地域限定の壁を取り払う下地を作りました。

1992

東洋濾紙(株)芳賀工場を新設し
西川田研究所を移転

1995

米国法人を
ADVANTEC MFS,INC.に
社名変更

1996

現(株)東洋製作所
大阪工場を新設

1998

東洋濾紙(株)新潟工場を新設。
コンピューターシステムによる
濾紙の製造を開始。

新潟工場では最新鋭の設備機械導入による工程の自動化や省力化、製造原価低減によるコスト競争力を確保しました。コンピューターによる集中制御と併せて工程管理システムや工程負荷管理システムを導入し、さらに半製品などの管理用に無人搬送システムも導入しました。



2012

アドバンテック日成(株)
(旧 日成設備工業(株))が
グループに加入

2017

東洋濾紙(株)が
創業100周年を迎える

新たな世紀に向け、ADVANTEC
グループを一つの企業組織と捉え、
組織・機構を改革しました。

2017

(株)関東高分子
(旧(有)関東高分子)が
グループに加入

2018

現 LABCOM営業部を
発足し研究施設を
第3の事業とする

2019

東洋濾紙(株)
中条工場を新設し
大河工場を移転

2019

(株)成瀬理工が
グループに加入

1986



コンパクト/カプセルCFおよび
ディスプレイメンブレン
フィルターユニットDISMIC®

1988

幅広い用途に対応する
フラクションコレクター

フラクションコレクター
SF-2120と全自動蒸留水製
造装置GS-200、GSL-200、
GSL-500でグッドデザイン賞を受賞。フラク
ションコレクターは、米国メーカーへのOEM
供給を開始しました。



1989

超純水製造装置

1990



クリーンオープン イナートオープン

1992



卓上型の
超純水製造装置

1998



カラー液晶画面を
搭載した恒温恒湿器

2000



水中ダイオキシン
サンプリング装置

2001



連続電気透析再生型
イオン交換法を採用した
電気透析純水製造装置

2011



電子冷却
恒温恒湿器

2012



高純度蒸留水精製
機構を搭載した
蒸留水製造装置

2014



加熱油脂劣化度
判定用試験紙
AV-CHECK

2018



イムノクロマト
メンブレン

2020



大型カラータッチパネル
液晶を搭載した
蒸留水・超純水製造装置

ロゴマークに込めた 私たちの想い

ADVANTEC®

1984年に誕生したADVANTECグループ共通のロゴマークです。Advanced Technologyに由来し、先端科学技術や新素材、あらゆる工業分野での技術革新に対して、ADVANTECグループが創業以来培ってきた技術力を結集させることで科学技術の発展に寄与することを表しています。



ADVANTECの理化学機器事業のロゴマークです。製品のみならず研究環境全体を「整えて」、お客様の研究品質を「保ち」、お客様の事業が発展するための提供価値を「伝える」という、ADVANTECの理化学機器が社会に提供する価値を表しています。

 **LABCOM®**
Open Innovation

研究施設<LABCOM>事業のロゴマークです。お客様のより良い研究環境をつくるため、研究環境に関わるあらゆるものごとを「ヒトと共に」で考え、共につくるという意味が込められています。

ADVANTEC®



 **LABCOM**®
Open Innovation